

隠岐諸島観光振興 中長期ビジョン

目指すビジョン

隠岐ユネスコ世界ジオパークの恵まれた
地域資源を活かした観光産業の振興により
地域及び経済が持続的に発展していく島

令和元年に策定した中長期ビジョンについて、目標年次である令和11年を見据え、実効性の高い戦略への再構築を進めています。

本ビジョンでは、観光施策の成果指標として「観光消費額」「経済波及効果」の2つを位置づけています。

【定義】

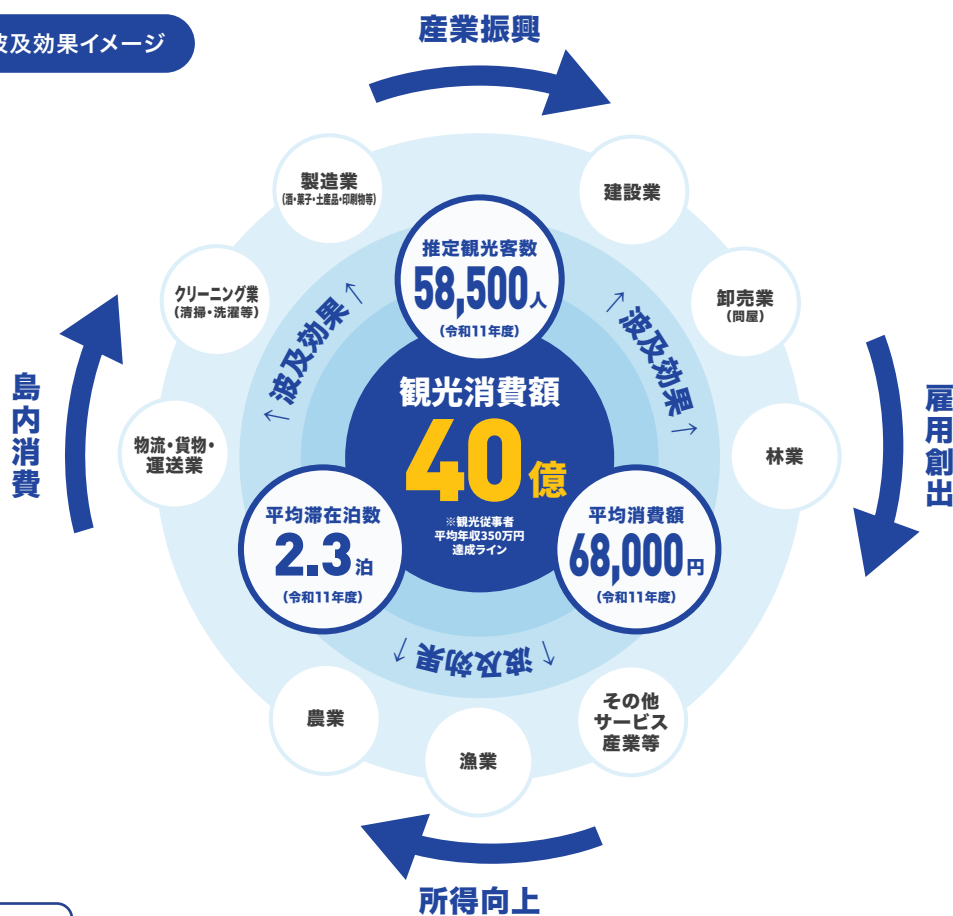
「観光消費額」:「観光客数」×「平均消費額」

「経済波及効果」:観光消費額に伴って発生する、生産額の合計

これらをもとに、観光と地域経済との関係性を可視化し、以下のような地域経済の好循環を目指します。

「観光客の来島→島内の産業振興→雇用創出→所得向上→島内消費」

観光産業の経済波及効果イメージ



3つの新方針

新方針① マーケティング

観光消費額の 最大化

観光客のニーズを的確に把握し、新手法によるマーケティングを通じて効果的なプロモーションを強化します。

新方針② 地域マネジメント

経済波及効果の 可視化・最大化

観光消費額に加え、地域内での経済循環を示す波及効果を可視化するため、新指標の導入と測定を推進します。

新方針③ 役割分担の明確化

島ごとの課題解決を 優先した実行体制

島ごとに、優先順位が高い課題の解決に向けて、島内の事業者を中心としたチームで取り組み、DMOは主に各島への情報共有を中心に連携していきます。

新方針① マーケティング

観光消費額の最大化

観光を取り巻く環境変化や訪日外国人観光客（インバウンド）をはじめとする観光客のニーズを迅速かつ的確に把握し、適正な施策に結び付けていくために、ターゲティングに関する考え方を見直し、効果的なプロモーションの実行など、マーケティングの充実を図ります。

●POINT01 隠岐の強みの再認識

日本とは思えない風景／100を越える神社と歴史／高付加価値宿泊体験

●POINT02 ターゲットシートの設定

人ではなく、旅行のきっかけとなる生活シーン（文脈）をターゲティングする忙しい日常から離れて非日常を味わいたい時／地域の歴史、文化、伝統に深く触れ、知的好奇心を満たしたい時／山登りやトレッキングで絶景を楽しむ時／誕生日や記念日など特別な日に思い出に残る時間を過ごしたい時

●POINT03 項目別単価目標の設定

平均消費額（68,000円）の内訳と現在値（令和6年度実績）は下記

項目	単価目標（令和11年度）	現在値（令和6年度実績）
宿泊	33,000円	31,023円
二次交通	8,500円	8,567円
飲食	14,000円	13,391円
お土産	7,500円	5,927円
体験・入館	5,000円	4,284円

インバウンド戦略

ターゲットを「フランス」、「台湾」と定め、より効果的なマーケティング戦略を策定

観光客数	単価目標	平均泊数	誘客促進アクション
1,200人	67,450円	3.2泊以上	旅行会社へのアプローチを優先

新方針② 地域マネジメント

経済波及効果の可視化・最大化

観光消費額だけでなく、観光による消費が地域内経済にどれだけ循環しているかを示す経済波及効果を可視化するための新指標を導入・測定します。

3つの新指標

- 域内調達率 | 食材等の仕入のうち、地域内から購入した割合
- サービス域内外注率 | サービス等の外注のうち、地域内に発注した割合
- 観光事業人件費率 | 観光事業者の売上における人件費の割合

スケジュール

●STEP01 モデル調査の開始（令和7年～）

モデル事業者を選定し、経理処理サポートを行いながら試験調査を実施。

●STEP02 分析・目標設定（令和8年～）

モデル調査結果を分析し、現実的な目標数値（KPI）を設定。波及効果を高める課題を抽出。

●STEP03 調査対象の拡大・目標達成に向けた取組（令和9年～）

調査対象を拡大しつつ、島内調達や雇用促進に向けた施策を本格化。

新方針③ 役割分担の明確化

島ごとの課題解決を優先した実行体制

大まかに、観光客数を増やすためのプロモーションをDMOが担い、1人当たりの平均消費額を上げるための課題解決を各島ごとの優先順位に則って実行します。

●隠岐ジオパーク推進機構

隠岐全体の認知度を高めつつ、地域版OTAの利用促進や予約・問い合わせ窓口の一本化を推進します。各島で取り組むプロジェクトについて、情報共有を中心に各島と連携しつつ、観光部会を通じて各島同士の連携を作っていきます。

隠岐の島町

宿泊施設同士の連携促進を通じた地域の受入環境整備や、ローソク島遊覧船や牛突き・民謡などの体験コンテンツを磨き上げます。

海士町

宿泊の機会損失を防ぐための体制構築、飲食サービスの観光客対応強化、海中展望船の新ルート開発等を通じ、観光客の満足度向上を図ります。

知夫村

「ホテル知夫の里」の稼働率向上を通じた宿泊キャパシティの増加、島に魅力を伝える新たなお土産品の開発を実施します。

西ノ島町

観光客の「昼食・夕食難民」問題を解消するための提供体制を確立し、国賀海岸を中心とした観光コンテンツの質の向上を目指します。